

平成 26 年 9 月 1 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

マレーシア サバ州沖深海 S 鉱区におけるサントス社への権益の一部譲渡について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のインペックス北西サバ沖石油株式会社（以下、同社）を通じて、マレーシア サバ州沖深海S鉱区において、オペレーターとしてペトロナス社の子会社であるペトロナスチャリガリ社（以下、チャリガリ社）とともに探鉱作業を実施しておりますが、このたび、同社保有権益75%の一部（25%）をオーストラリア サントス社に譲渡することについて合意しましたので、お知らせいたします。

本鉱区はマレーシア東部沖合に位置し、水深は200メートル～1,500メートル、面積は約574平方キロメートルです。本鉱区が位置する海域は、キケ(Kikeh)油田やガムスト(Gumsut)油田といった大規模油田が発見されるなど、石油・天然ガスの発見が期待できる有望な地域です。

当社は、2012年1月にオペレーターとして本鉱区を取得後、三次元地震探鉱のデータ収録作業および解釈作業を行っております。その評価結果を踏まえ、本年中に試掘井の掘削を行い、石油天然ガスの胚胎の可能性を調査する予定です。

サントス社は、オーストラリアをはじめとするアジア・オセアニア地域を中心に石油・天然ガス開発事業に従事し、特にオーストラリアにおいては豊富な操業経験を有しています。当社とサントス社は、バユ・ウンダンプロジェクトやイクシス周辺鉱区など数多くのプロジェクトを共同で推進しており、今回の権益譲渡を通じて、サントス社との一層の関係強化が期待されます。

なお、本件による当社連結業績への影響については、軽微であります。

以上

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

<マレーシア サバ州沖深海S鉱区概要>

取得日	2012年1月17日	
鉱区面積	約574平方キロメートル	
鉱区位置	マレーシア東部沖合	
水深	水深200メートル～1,500メートル	
権益比率	同社	50% (オペレーター)
	ペトロナスチャリガリ社	25%
	サントス社	25%

<参考: : マレーシアにおける当社のその他プロジェクト>

プロジェクト	サバ州沖深海R鉱区	
取得日時	2012年1月17日	
鉱区面積	約672平方キロメートル	
鉱区位置	マレーシア東部沖合	
水深	水深100メートル～1,400メートル	
権益比率	JX 日鉱日石サバ深海石油開発 (株)	37.5% (オペレーター)
	インペックス南西サバ沖石油 (株)	37.5%
	ペトロナスチャリガリ社	25%